



(株)熊田園の皆さん

経営概要

◆代表者・所在地

代表取締役 熊田淳人、鹿児島県薩摩郡さつま町

◆設立年

令和4年11月

◆経営規模

茶 6 ha

◆従業員数

役員2名、正社員3名

◆事業内容

有機JAS認証茶の生産や加工、販売に取り組む。

1

現状及び相談内容

平成28年に先代から経営を継承した熊田氏は、徐々に面積を拡大しながら、有機JAS認証茶の生産・加工・販売に取り組んできた。毎年、農繁期になると1名を臨時雇用していたが、両親の高齢化により労働力が不足したため、正社員の雇用を計画した。また、**社会保険等の就業条件や労務管理、法人化に向けた具体的な手続き**、最適な時期などについて、かごしま農業経営・就農支援センターに相談があった。

3

人材の確保・育成に資する取組

★就業規則の策定や繁忙期における変形労働時間制の導入に加え、国際水準ASIAGAP認証基準に基づいた労務環境の改善に取り組む

■労働環境の整備

就業規則の策定により労働条件を明確化したことで、雇用従事者の労働意欲の向上につながった。あわせて、**5S※活動を実践し、農作業の効率化や安全性の向上を図り、労働生産性の向上に努めている。**

また、**ASIAGAP認証基準に基づき従業員の労務環境を改善したことにより、農作業の注意点や手順が明確化されて作業ミスの減少につながった。**

労働環境を整備したことで、経営理念や農作業に対する理解も深まり、従業員の労働意欲の向上につながっている。

※5Sとは、職場環境を整えるための5つの要素「整理（Seiri）」「整頓（Seiton）」「清掃（Seisou）」「清潔（Seiketsu）」「しつけ（Shitsuke）」のこと。

今後の意気込み

法人化したことで、取引先からの信用度も向上したと実感しています。法人化や正社員の雇用、国際水準GAP認証をきっかけに、経営体としてのレベルが向上しました。

今後、人材の育成・確保等の様々な取組を実践し、地域全体の経営発展につなげていきたいです。

2

支援内容

法人化による経営基盤の強化を図るため、税理士や社会保険労務士を派遣し、法人設立時期や資産の譲渡方法、各種手続きについて助言するとともに、**社会保険制度等の説明や労務管理に関する助言及び就業規則の策定を支援した。**

■繁忙期における変形労働時間制を導入

雇用者と十分に話し合いを行い、**茶の摘採時期は、労働時間を平均して週40時間以内とした1ヶ月単位の変形労働時間制を導入し、繁忙期の労働力の確保と雇用者の働きやすい適切な労働環境の整備**している。



ASIAGAP認証基準の研修会の様子

専属スタッフ所感

有機JAS認証茶の栽培に先駆的に取り組み、ASIAGAP認証基準に基づいた各種取組を実践され、国内外に販路を拡大されています。また、地元住民を雇用されており、地域農業の発展に貢献する法人として活躍することを期待しています。